

南部市場環境モニタリング結果(令和2年度)

その1 (大気)

測定・分析機関：(株) 静環検査センター

項 目			測 定 結 果		規制基準	処理目標値	測定回数		
			上半期	下半期					
大 気（ばい煙）	ダイオキシン類	市 場 内 (pg-TEQ/ m³)	－ 【*1】	－ 【*1】	0. 6 （環境基準）	—	2 回/年 (夏・冬)		
		焼 却 炉 1号 (ng-TEQ/ m³N)			5	1			
		焼 却 炉 2号 (ng-TEQ/ m³N)							
	硫黄酸化物	市 場 内 (ppm)						—	—
		焼 却 炉 1号 (m³N/h)						—	—
		焼 却 炉 2号 (m³N/h)							
	塩 化 水 素	市 場 内 (ppm)						—	—
		焼 却 炉 1号 (mg/ m³N)						700	—
		焼 却 炉 2号 (mg/ m³N)							
	ば い じ ん	市 場 内 (mg/ m³)	0. 009	0. 008	—	—			
		ボ イ ラ ー 1号 (g/ m³N)	<0. 005	<0. 007	0. 05	0. 05			
		ボ イ ラ ー 2号 (g/ m³N)	<0. 006	<0. 006					
		冷温水発生機 1号 (g/ m³N)	(6月) <0. 005 【*2】 (8月) <0. 005 【*2】	－ 【*2】					
		冷温水発生機 2号 (g/ m³N)	(6月) <0. 006 【*2】 (8月) <0. 006 【*2】						
		コージェネレーション 1号 (g/ m³N)	<0. 010	<0. 011	0. 04	0. 04			
		コージェネレーション 2号 (g/ m³N)	<0. 012	<0. 012					
		焼 却 炉 1号 (g/ m³N)	－ 【*1】	－ 【*1】	0. 15	0. 05			
		焼 却 炉 2号 (g/ m³N)							
	窒素酸化物	市 場 内 (ppm)	0. 027	0. 018	—	—			
		ボ イ ラ ー 1号 (ppm)	18	24	150	60			
		ボ イ ラ ー 2号 (ppm)	19	28					
		冷温水発生機 1号 (ppm)	(6月) 13 【*2】 (8月) 17 【*2】	－ 【*2】					
		冷温水発生機 2号 (ppm)	(6月) 18 【*2】 (8月) 14 【*2】						
		コージェネレーション 1号 (ppm)	100	100	600	200			
		コージェネレーション 2号 (ppm)	15	31					
		焼 却 炉 1号 (ppm)	－ 【*1】	－ 【*1】	250	200			
		焼 却 炉 2号 (ppm)							

*1 大気中のダイオキシン類・硫黄酸化物・塩化水素及び焼却炉の各測定項目：平成26年度から焼却炉の稼働が休止中のため測定せず。
*2 冷温水発生機各測定：冷温水発生機は夏季のみ稼働するため、上半期に2回測定。

南部市場環境モニタリング結果(令和２年度)

その２（悪臭）

測定・分析機関：（株）静環検査センター

項 目			測 定 結 果												規制基準	処理目標値	測定回数
				上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期			
敷地境界	悪臭物質 【*1】	アンモニア (ppm)	東側	<0.1	<0.1	西側	<0.1	<0.1	南側	<0.1	<0.1	北側	<0.1	<0.1	1	1	2回/年 (夏, 春)
		メチルメルカプタン (ppm)		<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002		<0.0002	<0.0002		0.002	0.002			
		硫化水素 (ppm)		<0.002	<0.002		<0.002	<0.002		<0.002	<0.002		0.02	0.02			
		硫化メチル (ppm)		<0.001	<0.001		<0.001	<0.001		<0.001	<0.001		0.01	0.01			
		二硫化メチル (ppm)		<0.0009	<0.0009		<0.0009	<0.0009		<0.0009	<0.0009		0.009	0.009			
		トリメチルアミン (ppm)		<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005		0.005	0.005			
		アセトアルデヒド (ppm)		<0.005	<0.005		<0.005	<0.005		<0.005	<0.005		0.05	0.05			
	臭気指数 【*3】			<10	<10		<10	<10		<10	<10		15	10			
気体排出口	臭気指数	焼却炉煙突	上半期	－ 【*2】		下半期	－ 【*2】		－ 【*2】		30	25	4回/年 (夏2, 冬1, 春1)				
		焼却処理室 脱臭装置出口															
		本館棟 脱臭装置出口		(8月) (9月)	<12 <12		(1月) (3月)	<12 <12									
		排水処理室 脱臭装置出口		(8月) (9月)	25 14		(1月) (3月)	<12 <12									

*1 悪臭物質（7項目）の測定について、令和2年度は8月・3月に実施。
*2 焼却炉煙突・焼却処理室脱臭装置出口の臭気指数：平成26年度から焼却炉の稼働が休止中のため、測定せず。
*3 臭気指数とは

- ① 人の嗅覚を利用した官能検査によって、臭いの程度を数値化したもの（具体的には、人が臭いを感じなくなるまで臭気物質を薄めたときの倍率を用いて計算する）。
- ② 未知の物質や複合臭（複数の臭いが混じると相加・相乗効果が起こる場合がある）等、機械では測定できないものにも対応が可能。
- ③ 人の感覚に近く、総合的に評価できる。臭気指数 2 0は臭気指数 1 0に比べ、臭いが 2 倍程強い（臭気物質の濃度は 1 0 倍濃い）。
- ④ 臭気指数の目安

臭 気 指 数	10	15	20	25	30	35	45
具 体 例	梅 の 花	化粧品売場 ・道路沿道	トイレ芳香剤・ 花火の煙・ジン チョウゲの花	しょう油・線香	ガソリン・ タバコの煙	コーヒー	ニンニク炒め

南部市場環境モニタリング結果(令和２年度)

その３（騒音・振動）

測定・分析機関：（株）静環検査センター

項 目			測 定 結 果												規制基準	処理目標値	測定回数
				上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期		上半期	下半期			
騒 音 (dB) 【*3】	敷 地 境 界	朝 【*1】	東 側	69	70	西 側	58	57	南 側	60	60	北 側	66	65	朝, 昼間, 夕 75 夜間 70	朝, 昼間, 夕 50 夜間 50	2 回/年 (夏・冬)
		昼間 【*1】		69	69		55	56		60	61		66	67			
		夕 【*1】		67	69		55	52		58	58		60	61			
		夜間 【*1】		66	67		57	53		57	57		59	62			
振 動 (dB)	敷 地 境 界	昼間 【*2】	東 側	39	39	西 側	34	34	南 側	35	35	北 側	45	47	昼間 75 夜間 70	昼間 65 夜間 55	2 回/年 (夏・冬)
		夜間 【*2】		35	35		30	31		32	32		36	38			

*1 朝；6～8時、昼間；8～19時、夕；19～22時、夜間；22時～6時（表中数値は、時間率騒音レベルL 5 相当値）

*2 昼間；7～20時、夜間；20～7時 （表中数値は、時間率振動レベルL 1 0 相当値）

*3 騒音の測定・分析機関による評価の概要

【上半期】9月28日～29日
東側；主な音源は、朝・昼間は車の通行音・虫の声・鳥の声、夕は車の通行音・虫の声・クラクションの音、夜間は車の通行音・虫の声であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。
西側；主な音源は、朝・昼間は車の通行音・近隣工場音・虫の声・鳥の声、夕は車の通行音・虫の声、夜間は車の通行音・バイクの通行音・虫の声であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。
南側；主な音源は、朝は車の通行音・車のアイドリング音・虫の声・鳥の声、昼間は車の通行音・虫の声・鳥の声、夕は車の通行音・バイクの通行音・虫の声・警笛の音・犬の声、夜間は車の通行音・バイクの通行音・虫の声・警笛の音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。
北側；主な音源は、朝は車の通行音・虫の声・鳥の声、昼間は車の通行音・虫の声・鳥の声・風切音、夕・夜間は車の通行音・虫の声・近隣工場音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

【下半期】12月24日～25日
東側；主な音源は、朝は車の通行音・鳥の声・緊急車両の通行音、昼間は車の通行音・鳥の声、夕・夜間は車の通行音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。
西側；主な音源は、朝は車の通行音・鳥の声・近隣工場音、昼間は車の通行音・鳥の声・飛行機の通過音・近隣作業音、夕は車の通行音・飛行機の通過音・バイクの通過音、夜間は車の通行音・近隣工場音・風切音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。
南側；主な音源は、朝・昼間は車の通行音・鳥の声、夕は車の通行音・飛行機の通過音、夜間は車の通行音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。
北側；主な音源は、朝は車の通行音・鳥の声・近隣工場音、昼間は車の通行音・鳥の声、夕は車の通行音・近隣工場音・近隣作業音、夜間は車の通行音・近隣工場音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

南部市場環境モニタリング結果(令和２年度)

その４（水質）

測定・分析機関：（株）静環検査センター

項 目			測 定 結 果												規 制 基 準	処 理 目 標 値	測 定 回 数	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
水 質	市 場 排 水 口	COD【化学的酸素要求量】 (mg/ℓ)		2.0	2.0	2.2	2.2	2.1	1.6	2.4	0.5	1.4	2.5	2.5	2.5	25	10	毎 月 1 回
		SS【浮遊物質】 (mg/ℓ)		<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	30	4	
		ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/ℓ)		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	1	
		T-N【総窒素量】 (mg/ℓ)		2.2	1.6	1.7	1.0	0.6	2.0	1.7	3.6	2.6	2.0	0.8	1.3	20	10	
		T-P【総リン量】 (mg/ℓ)		<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	0.12	0.09	<0.06	<0.06	<0.06	0.10	0.10	0.11	3	1	
		pH【水素イオン濃度】		7.3	7.2	7.0	7.3	7.2	7.5	7.6	7.9	7.7	7.8	7.6	7.6	5.0 ～ 9.0	6.0 ～ 8.5	
	総 量 規 制	COD 【化学的酸素要求量】 (kg/日)	平 均	1.1	1.1	1.0	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.2	1.3	1.3	1.6	67.2	—	常 時 測 定
			最小値	0.0	0.2	0.6	0.5	0.5	0.2	0.4	0.4	0.1	0.0	0.7	0.2			
			最大値	1.6	1.7	1.7	1.5	1.8	2.0	1.5	3.0	1.7	2.1	2.0	2.2			
		T-N 【総窒素】 (kg/日)	平 均	1.0	0.9	1.2	1.1	1.3	1.7	1.9	2.9	3.6	1.9	1.2	1.7	25.2	—	
			最小値	0.0	0.1	0.6	0.0	0.5	0.6	0.6	1.6	0.6	0.4	0.3	0.5			
			最大値	9.4	1.7	2.0	1.8	2.3	2.4	3.5	5.1	7.0	3.2	2.7	6.0			
		T-P 【総リン】 (kg/日)	平 均	0.03	0.02	0.05	0.05	0.11	0.08	0.04	0.03	0.02	0.10	0.05	0.02	3.36	—	
			最小値	0.00	0.00	0.01	0.03	0.04	0.01	0.02	0.02	0.00	0.00	0.02	0.01			
			最大値	0.23	0.06	0.17	0.11	0.42	0.43	0.11	0.04	0.03	0.76	0.19	0.04			